

本県沖M7.4

津波、相馬90センチ、小名浜60センチ

震度5弱



いわき市の錦東小に避難し、屋上から海の状態を見守る住民。22日午前6時30分ごろ



22日午前5時59分ごろ、本県などで震度5弱の地震があった。気象庁は午前6時2分、本県などに津波警報を発表、午前8時12分までに相馬で90センチ、いわき市小名浜で60センチを観測した。最大は仙台港の140センチ。気象庁によると、震源はいわき市沖の東北東70キロ付近で深さは約30キロ。マグニチュード(M)は7.4。福島地方気象台は2.5日中に、大きな地震が起きる可能性があるとしている。

東京電力によると福島第2原発で3号機の使用済み核燃料プールの冷却設備が午前6時10分ごろ、自動停止したが、同7時47分に運転を再開した。急激な温度

の上昇はないとしている。第2原発で津波を観測したとの情報があり、県警が確認を急いでいる。福島第1原発に新たな異常はない。

県や市町村は被害状況の確認を急いでおり、本県沿岸部では住民が高台などに避難した。いわき市消防本部によると、同市錦町のコンビニートで火災が発生したが鎮火した。県、県警によると、矢吹町の70代女性、自宅の食器棚で頭を打ち、軽傷、福島市では60代男性が割れたガラスで左足に軽いけがをした。

県内の鉄道は、JRの在来線の一部で運転を見合わせた。東北新幹線は地震直後に運転を見合わせたものの、午前6時30分ごろに運転を再開。高速道は、常磐道いわき湯本―常磐富岡間などで通行止めとなった。

本県で津波が観測されたのは、昨年9月18日に相馬市などで最大30センチを観測して以来。